

まちなきこり人育成講座 第5回レベルアップ研修 活動報告

平成 26 年 2 月 25 日

作成 清水 環

1. 活動場所 桑名市憩いの杜
2. 活動日 平成 25 年 12 月 7 日(土) 天候 晴れ、曇り
3. 担当 清水、上林
4. 参加者 小幡尚子、青木智、中橋勇、上林光伸、大河内信行、板垣司、裏川照雄、南条七三子、瀧口朱実、蒲田博、櫻井龍彦、瀧口邦夫、市川正之、清水環、浅沼正昭 15 名
5. 講師 森林総合研究所関西支所 奥敬一氏

6. 内容

今回の研修では、里山の管理についてや森林団体の運営について学びたい方々が参加されていた。従って、まず会員の松永さんより団体の概要を説明、同じく会員でずっと地元で暮らしてきた櫻井さんより地域の暮らしの変遷を語っていただいた。

その後、森林総研奥氏から、里山全体の歴史、森の見方、コナラの更新、ナラ枯れの対処法などを伺って、実際に森の中を歩きながらヒントをいただいた。特に、ゴルフ場手前の斜面には、コナラの実生がたくさん出ていたが、それはそのままだといずれ枯れてしまうので、もし今後この森でコナラを維持したいなら移植した方がよいとのことだった。また、ナラ枯れした木は一刻も早く搬出した方がよい。例えば現場で薪割りまでして林内作業車で運ぶ、イベントをして参加者に運んでもらうなど。伐ってすぐに出すのが重すぎて難しいなら秋までに割木して乾燥させ春までに持ち出すか、燻蒸するなどの処理をする。倒すだけなら被害の拡散になってしまう、とのことだった。

寒い日でも陽光はある中お弁当を食べた後近くの社務所へ移動、NPO などの団は興隆期から過渡期にある中、森林の風の現状はどのようなものであるのか分析していただいた。

せっかく施業林を見ていただいた貴重な機会で、テーマを 2 段に分けず午前引き続き、憩いの杜における今後の施業方針を話し合う内容や過程を確認していただく時間にしてもよかったか、と担当としてはスケジュール的な後悔があった。



以上。

活動報告が大幅に遅れてすみませんでした。(清水)